



SBI大学院大学

2025年度 秋学期

MBA単科コース

《募集要項》

【Ver.3】

SBI大学院大学 概要

大学名称	: SBI大学院大学
学長	: 蟹瀬 誠一
研究科・専攻	: 経営管理研究科 アントレプレナー専攻
大学の形態	: 専門職大学院(通信教育)
卒業後の学位・称号	: 経営管理修士(専門職)
入学定員	: 正科生 年間120名(春期・秋期の各60名募集)
最低修業年限	: 2年
修了要件	: 34単位以上の単位取得
設置者	: 学校法人SBI大学

住所	: 〒106-6021 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー21階
電話	: 03-6229-1175
FAX	: 03-6685-6100
E-mail	: admin@sbi-u.ac.jp

MBA単科コースとは

MBA本科コースの科目を1科目から選んで学べるコースです。スキルアップはもちろん、MBAの授業を実際に体験しながらMBA本科コースへの出願を検討するのにご活用ください。

eラーニングによるインタラクティブな授業展開に加え、ラーニングスタッフ(LS)が受講生のスムーズな学習をサポートいたします。

MBA単科コースの主な特徴

- ・実践的な経営の勉強をしたいが、本大学院で2年間履修する余裕が無いという方に最適です。
- ・「経営力をつけたい」「親の会社を引き継ぎたい」など、厳しい環境下にある経営者のニーズを捉え、ご自身に必要なと思われる科目を選択して履修が可能です。
- ・MBA本科コースと同じ講義を受講でき、教員、学生同士、SBIグループとの交流を通じた、ビジネスシナジーを図ることが可能です。
- ・履修後には単位を取得できます。正科生としてMBA本科コースに入学した場合には、取得済みの単位は、受講済科目として認定し、また受講料の一部が免除されます。
- ・申込人数によっては受講をお断りする場合がございます。予めご了承ください。

MBA単科コース募集定員／申込資格

募集定員

若干名（定員は科目ごとに異なります。）

申込資格

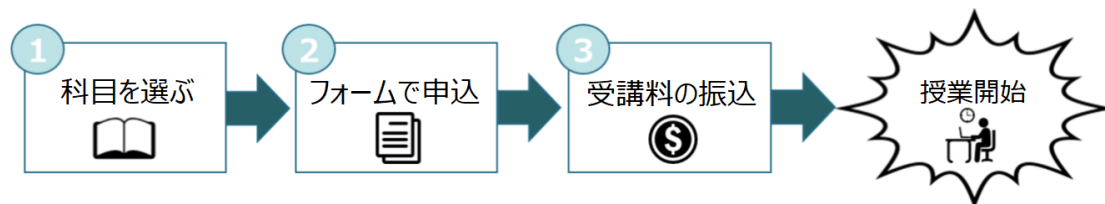
4年制大学卒業もしくは同等の学力があり、且つ社会人として就業経験が3年以上もしくは同等の経験があると入学審査にて認められた方

4年制大学卒業もしくは同等の学力のある方とは、次の各号のいずれか一つに該当する方をさします。

- (1) 大学を卒業した方
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された方
- (3) 外国において、学校教育における16年(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する博士課程への入学については18年)の課程を修了した方
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する博士課程への入学については18年)の課程を修了した方
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した方
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する博士課程への入学については5年)の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された方
- (7) 指定された専修学校の専門課程(文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧)を修了した方
- (8) 旧制学校等を修了した方
- (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した方
- (10) 本学において個別の入学資格審査により認めた22歳以上の方
(上記(1)～(9)に該当しない方はお申込前に「入学資格審査票」の提出が必要となります。)

※ 本学での講義は日本語で行われるため、日本語を母国語としない場合には日本語能力検定1級程度が目安となります。

受講までの流れ



- (1) 本学WEBサイト上の「MBA単科コースのお申込み」ページからお申込みください。申込みフォームで、受講を希望する科目(※)を選択いただきます。※開講科目一覧をご参照ください。
- (2) お申込み完了後、受講までの手続き(学費のお支払いや提出書類)に関するご案内メールをお送りしますので、ご確認の上、期限までにお手続きください。
- (3) 受講開始の約3週間前に、ご受講に必要な資料を郵送します。また、オリエンテーションサイトのご案内メールをお送りしますので、受講開始までに、学期スケジュールやeラーニングシステムの操作方法等をご確認ください。

申込手続き

日程

	前期・通期科目	後期科目
申込締切	2025年9月10日	2025年11月10日
開講日	2025年10月15日	2025年12月10日

学費

1単位の科目の授業料：8万円

登録料 2万円 +

2単位の科目の授業料：16万円

※登録料については新規お申込みの方のみとなります。

申込方法

本学 WEBサイト「MBA単科コースのお申込み」よりお申込みください。

右のQRコードからもアクセスいただけます。

▶『SBI大学院大学WEBサイト』→『MBA単科コース』→『MBA単科コースのお申込み』



学費の振込

お申込み後に学費に関するご案内メールをお送りいたします。

ご案内メール受信後、以下の指定口座にお振込みください。

お申込みの翌月15日払い。各科目の申込締切月にお申込みいただいた場合は当月15日払いとなります。

- ・海外から送金される際は事前に事務局までお問い合わせください。
- ・振込手数料はご負担願います。
- ・振込み人名義は必ず入学志願者名にしてください。
- ・大学事務局管理のため、振込人名義の前に、「102」と入力してください。
- ・振込票の控えはお手元に保管してください。

※インターネットバンキングでお振込みの場合は、

「振込明細」等の画面印刷またはキャプチャ(スクリーンショット)を保存してください。

銀行名 住信SBIネット銀行(0038)

支店名 法人第一支店(106)

科目 普通預金

口座番号 1002143

口座名義 学校法人SBI大学

フリガナ ガク)エスビーアイダイガク

領収書の発行※を希望される場合には、事務局(admission@mba.sbi-u.ac.jp)までご連絡ください。

領収書発行後のご返金・キャンセルは致しかねますのでご了承ください。

※領収書の発行(PDFまたは郵送)

発行をご希望の場合は発行方法及び該当の情報をご連絡ください。

- ・PDF:宛名
- ・郵送:宛名、郵送先住所

科目一覧

科目区分	科目名	レベル	単位数	担当教員
戦略・マーケティング	マーケティング（佐々木）※1	コア	2	佐々木一人
	マーケティング（徐）※1	コア	2	徐恩之
	事業戦略構築論（熊沢）－独立起業コース－※2	コア	2	熊沢拓
	事業戦略構築論（松木）－社内起業コース－※2	コア	2	松木知徳
	ビジネスモデル思考	コア	1	松原恭司郎
	経営者に学ぶベンチャー企業経営	発展	1	吉田宣也
	MBAのためのケーススタディー	発展	1	野間口隆郎
組織・人的資源	組織行動学（重田）※3	コア	1	重田孝夫
	組織行動学（宮迫）※3	コア	1	宮迫純
	Organizational Behavior（宮迫）※3	コア	1	宮迫純
	経営組織論概説	コア	1	松木知徳
	リーダーシップ特論V（論語にみるリーダー論）	応用	1	竹内良雄
金融・財務	ファイナンス（宮内）※4	コア	2	宮内惇至
	ファイナンス（山岸）※4	コア	2	山岸洋一
	財務会計 ※5	コア	1	柴崎健又は三光寺由実子
	管理会計 ※6	コア	1	小林英幸又は柴崎健
	金融論基礎：基礎から応用へ	コア	1	林直嗣
	外国為替市場の基礎	コア	1	門田真一郎
	M&A基礎	応用	1	中村亨
	為替政策と為替市場	応用	1	山崎達雄
	金融・資本市場概論	応用	2	幸田博人
	金融インフラと情報技術～次世代・デジタル金融の展望	応用	1	中山靖司
	起業会計実践	発展	2	太齋利幸
	財政と社会保障の理論と実際	発展	1	福田淳一
経営数理・問題解決	統計学	コア	1	沖吉真実
	オペレーションズ・マネジメント（小林）※7	コア	2	小林英幸
	オペレーションズ・マネジメント（野間口）※7	コア	2	野間口隆郎
	問題解決技法	応用	2	太齋利幸
	データサイエンス	応用	1	沖吉真実
	生成AI を使いこなすためのAI 概論	応用	1	佐藤市雄
	ブロックチェーン技術の社会実装（応用編）	応用	1	藤本守
	ビジネス・ミクロ経済学	発展	1	石川秀樹
企業倫理・経営思想	ビジネス法概論	コア	2	盧曉斐
	コーポレート・ガバナンス	コア	2	上田亮子
	近代経営者哲学研究	応用	1	細沼諒芳
	人間学特論～日本の勤労観と地域経営思想～	発展	1	堀隆一
グローバル・ビジネス	アジア人材マネジメント	コア	1	細沼諒芳
	地政学：激動する世界を読み解く	コア	1	蟹瀬誠一
	国際税務マネジメント	応用	1	梅田浩二
	中国市場戦略	発展	1	細沼諒芳
	グローバル・ビジネスコミュニケーション	発展	2	マイケル・サンダークリフ
	グローバル・ビジネスライティング	発展	2	マイケル・サンダークリフ

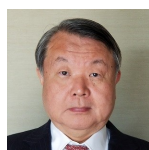
※1・※2・※3・※4・※7 の科目は、それぞれ同一科目のため、いずれか一方しか受講できません。

※5・※6 の科目は、事務局で所属クラスを振り分けます。担当教員をご自身で選択することはできません。

2025年秋学期スケジュール

秋学期 前期開講科目								秋学期 後期開講科目								
10月				11月				月	12月				1月			
15日	22日	29日	5日	12日	19日	26日	日	10日	17日	24日		7日	14日	21日		
1章	2章	3章	4章	5章	6章	7章	章	1章	2章	3章	4章	5章	6章	7章		
松原恭司郎	ビジネスモデル思考								経営者に学ぶベンチャー企業経営							吉田宣也
重田孝夫	組織行動学(重田)								MBAのためのケーススタディー							野間口隆郎
宮迫純	組織行動学(宮迫)								管理会計(小林)							小林英幸
宮迫純	Organizational Behavior(宮迫)								管理会計(柴崎)							柴崎健
松木知徳	経営組織論概説								金融論基礎:基礎から応用へ							林直嗣
竹内良雄	リーダーシップ特論V(論語にみるリーダー論)								財政と社会保障の理論と実際							福田淳一
柴崎健	財務会計(柴崎)								データサイエンス							沖吉真実
三光寺由実子	財務会計(三光寺)								ブロックチェーン技術の社会実装(応用編)							藤本守
門田真一郎	外国為替市場の基礎								人間学特論～日本の勤労観と地域経営思想～							堀隆一
中村亨	M&A基礎								中国市場戦略							細沼蒔芳
山崎達雄	為替政策と為替市場															
中山靖司	金融インフラと情報技術～次世代・デジタル金融の展望															
沖吉真実	統計学															
佐藤市雄	生成AI を使いこなすためのAI 概論															
石川秀樹	ビジネス・ミクロ経済学															
細沼蒔芳	近代経営者哲学研究															
細沼蒔芳	アジア人材マネジメント															
蟹瀬誠一	地政学:激動する世界を読み解く															
梅田浩二	国際税務マネジメント															
佐々木一人	マーケティング(佐々木)															佐々木一人
徐恩之	マーケティング(徐)															徐恩之
熊沢拓	事業戦略構築論－独立起業コース－															熊沢拓
松木知徳	事業戦略構築論－社内起業コース－															松木知徳
宮内惇至	ファイナンス(宮内)															宮内惇至
山岸洋一	ファイナンス(山岸)															山岸洋一
幸田博人	金融・資本市場概論															幸田博人
太齋利幸	起業会計実践															太齋利幸
小林英幸	オペレーションズ・マネジメント(小林)															小林英幸
野間口隆郎	オペレーションズ・マネジメント(野間口)															野間口隆郎
太齋利幸	問題解決技法															太齋利幸
盧曉斐	ビジネス法概論															盧曉斐
上田亮子	コーポレート・ガバナンス															上田亮子
マイケル・サンダーグワ	グローバル・ビジネスコミュニケーション															マイケル・サンダーグワ
マイケル・サンダーグワ	グローバル・ビジネスライティング															マイケル・サンダーグワ
	1章	2章	3章	4章	5章	6章	7章	8章	9章	10章	11章	12章	13章	14章	15章	
	15日	22日	29日	5日	12日	19日	26日	3日	10日	18日	24日		7日	14日	21日	
	10月			11月					12月				1月			
秋学期 通期開講科目																

【前期開講科目】



ビジネスモデル思考

科目区分	レベル	単位数
戦略・マーケティング	コア	1

<授業概要>

松原 恭司郎
客員教授

起業や社内ベンチャーのビジネスプランの策定。そして、ステークホルダーに向けた企業の統合報告でもビジネスモデル(BM)の重要性が高まっています。本授業では、
1)ビジネスモデルの定義、戦略との関係、講師が提唱する「ビジネスモデル・マッピング法」、ビジネスモデルのパターン、イノベティブなビジネスモデルの創出法など、ビジネスモデル・マネジメントの全容を学修します。
2)また「IoT(モノのインターネット)」の活用や、「モノからコトへ」に象徴されるサービス・ドミナント・ロジックを取込んだビジネスモデル・イノベーションも取り上げます。



組織行動学（重田）

科目区分	レベル	単位数
組織・人的資源	コア	1

<授業概要>

重田 孝夫
教授

組織行動（Organizational Behavior, OB）とは、組織の中での人々の行動を指します。組織の行動ではありません。人間は、社会的動物ですので、人間社会の中で行動します。集団の中で、コミュニケーションし、よりよい社会を築き、幸福な生活を営むことを目指します。
組織行動学が対象とするのは、仕事の組織です。組織は、一人ではできないことを成し遂げることを可能とします。組織に貢献し、社会の発展に寄与することで、働く意義が高まります。個人としての幸福度が高まると、その組織の生産性も向上するという研究結果もあります。
授業では、それらの基本となる理論やコンセプトを考察します。



組織行動学（宮迫）

科目区分	レベル	単位数
組織・人的資源	コア	1

<授業概要>

宮迫 純
教授

組織行動（Organizational Behavior, OB）とは、組織の中での人々の行動を指します。組織行動学が対象とするのは、仕事の組織です。誰もがキャリアの中で、任務、目標、プロジェクトの達成のために他の人々に頼り、頼られ、またリードする必要があります。経営管理の人間の側面をより理解することによって、他のコースで学んでいるスキルをより一層活かせるようになります。この授業では、個人、対人関係、集団の3つのレベルでOBに焦点を当てます。性格・人格、意思決定、動機付け、対人関係、影響力・説得力、チーム効果などのテーマについて考察していきます。



組織行動学（宮迫）

科目区分	レベル	単位数
組織・人的資源	コア	1

<授業概要>

宮迫 純
教授

Organizational Behavior (OB) refers to the behavior of people within an organization. The field of OB mainly focuses on work organizations. Throughout your career, you will rely on others, be relied upon, and take on leadership roles to accomplish tasks, goals, and projects.

By gaining a deeper understanding of the human aspects of management, you will be able to make better use of the skills you are learning in other courses.

This course focuses on OB at three levels: individual, interpersonal, and group. Topics covered include personality, decision-making, motivation, interpersonal relationships, influence and persuasion, and team effectiveness.



経営組織論概説

科目区分	レベル	単位数
組織・人的資源	コア	1

<授業概要>

松木 知徳
講師

組織の基本的な理論や仕組みを解説したうえで、企業による戦略や組織の在り方について理解するとともに、環境変化を捉え、組織変革の検討に必要な観点を理解し、組織に対する視座を高める。



リーダーシップ特論Ⅴ（論語にみるリーダー論）

科目区分	レベル	単位数
組織・人的資源	応用	1

<授業概要>

竹内 良雄
講師

『論語』は約二千五百年前の孔子とその弟子たちとの言行を記述したものである。そこには東洋の英知と言ってもいい人間を探究した言葉がちりばめられている。授業では道徳論として人間一般を対象とするのではなく、リーダー論として必要な箇所を読み解いていく。たとえば、「君子」は「リーダー」あるいは「優れたリーダー」として読み替えると、リーダーを目指す者にとって大いなる示唆を受けるであろう。



財務会計（柴崎）

科目区分	レベル	単位数
金融・財務	コア	1

<授業概要>

柴崎 健
教授

財務会計は企業経営、ファイナンスや投資分析に必須の技術です。本授業では、会計の基礎的な知識を学びながら、企業が企業活動をどのように開示、公表しているかを見ることで、経営の意図を考えるための基礎を習得します。また、不正会計の事例を学ぶことで、正しい企業価値評価とは何かを考えます。



財務会計（三光寺）

科目区分	レベル	単位数
金融・財務	コア	1

<授業概要>

三光寺由実子
准教授

財務会計とは、企業の経済活動の実態を、貨幣金額で描写し、外部に公表した財務諸表が、どのような構造で作られているのか、また、その構造の背景にあるルールがいかなるものかを学ぶ、会計の主たる一領域です。財務会計を学ぶことにより、企業が公表する情報源泉から、その収益性、リスクの程度、成長性などを他社と比較しつつ分析する基盤を築くことが出来ます。本講義では、実際に、企業の財務諸表をどのように読み解き、意思決定へ結びつけるのかといった発展的分析や、国内およびグローバル経営の中での会計へとつながるための、基礎を習得します。



外国為替市場の基礎

科目区分	レベル	単位数
金融・財務	コア	1

<授業概要>

門田 真一郎
講師

本科目では、外国為替市場の構造や主要通貨の特徴を学んだ上で、世界的な資金の流れ、経済動向、政策に基づく為替市場の見方を理解したうえで、為替変動が経済に与える影響についても検討する。



M&A基礎

科目区分	レベル	単位数
金融・財務	応用	1

<授業概要>

中村 亨
講師

M&Aは「啓蒙の段階」から「普及の段階」に入ってきたといわれています。大企業だけのものではなく、中小企業、中堅企業にも身近なものになってきました。いわゆる団塊の世代が、現役引退の時期を迎えたことや、国内の内需不振、少子高齢化を背景とした業界再編の必要性和らまって、中小企業であっても、いわゆる「事業承継の解決策」としてM&Aが注目されてきました。また、M&Aをキーワードとするビジネスも活況を呈しているといわれています。本授業ではM&Aの基礎をわかりやすく身に付けることを目標に授業を進めていきます。



山崎 達雄
教授

為替政策と為替市場

科目区分	レベル	単位数
金融・財務	応用	1

<授業概要>

為替の基礎知識を学んだ上で、為替介入の実態、外貨準備の運用、円の国際化、人民元、アジア共通通貨とユーロ・デジタル通貨といったテーマにつき研究を深める。



中山 靖司
客員教授

金融インフラと情報技術～次世代・デジタル金融の展望

科目区分	レベル	単位数
金融・財務	応用	1

<授業概要>

WEB3等へ対応した全く新しいサービスが次々と生まれる昨今、伝統的な金融機関も変化することが求められており、金融のデジタル化、次世代金融サービスへの対応は否応なしに進んでいます。「金融インフラと情報技術」は、金融と情報技術の関りに焦点を当てつつ、金融機関、中央銀行、金融ネットワーク、決済インフラ等を概観するとともに、金融のDX化や次世代金融サービスについても扱う基礎科目です。金融インフラの現状及びそれを支える情報技術についての理解を深め、これからの金融サービスのあるべき姿を論じるうえで必要な知識を身につけます。本科目を学修したうえで、一般的な金融関係諸科目を履修すると、金融DX人材候補となりうるほか、金融機関の経営判断にも役立ちます。



沖吉 真実
講師

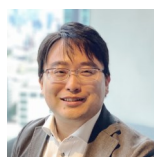
統計学

科目区分	レベル	単位数
経営数理・問題解決	コア	1

<授業概要>

現在、私たちは多くの情報に囲まれて生活しています。情報化社会において、あふれる情報の中から、価値あるデータを見つけ出し、そのデータを活用するスキルはますます重要となってきます。データを活用する能力を身につけることは、ビジネスやキャリアの成功につながります。

近年はAIの発達により比較的簡単にデータ分析を行うことが可能となってきましたが、必要最低限の正しいデータの取扱いや分析方法を知らなければ、正しい判断を行うことはできません。統計学は情報を読み解く力を養う第一歩であり、データに基づき問題解決や意思決定、未来の予測に役立つ重要な科目となります。本講義では、理系文系を問わず、様々な職種・業種で求められる「情報リテラシー」を身につけ、「情報を正確に解釈し、有効に活用する力」を養うことを目指します。



生成AI を使いこなすためのAI 概論

科目区分	レベル	単位数
経営数理・問題解決	応用	1

<授業概要>

佐藤 市雄
客員教授

生成AI（Artificial Intelligence）を使いこなすためのAI概論は、社会人向けMBAプログラムの一環として、人工知能（AI）の基本的な概念と生成AIの特徴、原理、応用などについて学びます。この授業では、学生が現代のAI技術の背後にある原則や理論を理解し、生成AIの機能、可能性、制約、倫理的な問題などについて深く考察する能力を身につけることを目指します。



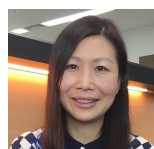
ビジネス・ミクロ経済学

科目区分	レベル	単位数
経営数理・問題解決	発展	1

<授業概要>

石川 秀樹
客員教授

ビジネスでの活用を念頭に、はじめにビジネスケースにおける課題を提示し、その課題解決のための有効な枠組みとしてミクロ経済学の思考法および理論を紹介する。誤った費用（コスト）分析が誤った判断を引き起こすケースや価格・出店戦略についてのケースなどを扱いながら、ミクロ経済学の理論そのままではビジネスに適用困難な場合には、どのような現実的対策が可能であるかを考える。なお、数式は多用せず、言葉とグラフによる論理展開によって、文系出身のビジネスマンにも理解できる内容とする。



近代経営者哲学研究

科目区分	レベル	単位数
企業倫理・経営思想	応用	1

<授業概要>

細沼 諒芳
教授

日本資本主義の父と呼ばれる実業家、渋沢栄一と中国の実業家陳嘉庚(チンカコウ)を取り上げ、彼らの生涯、倫理的価値観、経営の方法を見ることによって、経営者の基本的役割およびビジネスの原点を再確認していく。



アジア人材マネジメント

科目区分	レベル	単位数
グローバル・ビジネス	コア	1

<授業概要>

細沼 諒芳
教授

グローバル化の進展に伴って、企業の海外進出が活発している。また、企業だけでなく優秀な人材も国境を越え、世界中で活躍をし始めている。このような環境の中で、今後の市場として注目されているアジア市場には、現地企業や外資系企業を巡る人材競争がさらに激しくなっている。アジアへ進出している日本企業が人材面で勝ち抜くためには、アジア人材を活用できる有効な人材マネジメントが求められている。そのために、アジア人材の特徴、アジア諸地域の経済・文化・人事慣行などの在り方、異文化への理解力などの知識が必要となる。本授業は以上の内容を中心に講義する。

具体的に、本授業は次の3つの内容によって構成されている。

- (1) 異文化の認識とアジアの人材像 (第1～2章)
- (2) 地域でみる人材マネジメントのポイント (第3～5章)
- (3) 活躍できるリーダーの条件 (第6～7章)



地政学：激動する世界を読み解く

科目区分	レベル	単位数
グローバル・ビジネス	コア	1

<授業概要>

蟹瀬 誠一
教授

世界は多くのリスクを抱えながら21世紀の歩みを続けている。ビジネス界もマネーだけでなくパワーの世界、いわゆる地政学ならびに経済を武器に使う地経学リスクを理解しなければ生き残れない「野蛮の時代」に突入した。

とりわけ、コロナ禍で始まったウクライナ戦争は世界秩序を揺るがす戦後最大の歴史的な大惨事だ。地域紛争が本物の戦争に拡大し、その結末に拘わらず世界の経済から企業経営にまで深刻な影響を与えている。対立が深まる米中関係やテクノロジーの急成長もビジネスに大きな影を落としている。

本講では国際秩序が崩壊した国際情勢の先行きを展望するとともに、「VUCA」と呼ばれる予測不能な状況に企業経営者はどう立ち向かえばよいのかも考える。



国際税務マネジメント

科目区分	レベル	単位数
グローバル・ビジネス	応用	1

<授業概要>

梅田 浩二
講師

本授業の前半では、OECDモデル租税条約を題材に国際課税ルールの基礎知識を学習します。また、近年のグーグル、アマゾン等によるアグレッシブ・タックスプランニングと称される課税回避行動を分析するとともに、G20とOECD租税委員会によるBEPS行動計画を通じた国際課税ルール強化の動きをレビューします。後半では、グローバル企業が遵守すべき国際租税法の一つである移転価格税制と日本固有の制度である海外寄付金課税について学習します。そして、本国親会社による当該税制への過剰適応は、海外子会社側の課税リスクを高めるだけではなく子会社の業績も悪化させモチベーション低下を誘発するという経営管理上のリスクもあるため、制度対応と経営管理の両立について検討します。

なお、国際租税法を学習するために、法人税や企業会計に関する詳細な知識は必要ありません。経理業務に従事する方のみならず営業、調達、事業企画、経営管理等に携わる方々にとって有用な知識ですので、広く受講いただければと思います。

【通期開講科目】

	マーケティング（佐々木）	科目区分	レベル	単位数
		戦略・マーケティング	コア	2

<授業概要>

佐々木 一人
教授

今日、マーケティングは、顧客・市場・社会への価値創造活動として進化し続けています。ピーター・ドラッカーは著書『マネジメント』で、「企業の目的は顧客の創造である。したがって、企業は二つの、そして二つだけの機能を有し、それがマーケティングとイノベーションである。」と述べています。企業が人で成り立ち、人がその機能を達成して行く企業活動において、マーケティングはすべてのビジネスパーソンにとっての基本要件であると言えます。本講義は、進化し続けるマーケティングの本質的意義について考えながら、実務で使える戦略志向のマーケティングに関して体系的に学びます。

	マーケティング（徐）	科目区分	レベル	単位数
		戦略・マーケティング	コア	2

<授業概要>

徐 恩之
客員准教授

社会と市場の変化と共にマーケティングは、顧客・市場・社会への価値創造活動として進化し続けています。マーケティングとは、企業の市場に対するアプローチを理論化したものです。企業が人で成り立ち、人がその機能を達成して行く企業活動であることから、ビジネスパーソンが、市場と顧客の価値を正しく理解し、ソリューションを探していく上で、マーケティング視点は欠かせないものとなります。本講義は、進化し続けるマーケティングの本質的意義と基礎的な理論をについて理解しながら、実務で使える顧客及び戦略志向のマーケティングに関して体系的に学びます。

本講義の特徴は、産業財マーケティング、国際マーケティング、消費者行動論、マーケティング組織の管理といったマーケティングにおける主要テーマについて、幅広く触れることができることです。企業顧客と消費者のように、顧客のタイプの違いを意識したようなマーケティング活動について、実務の問題や実例を用いて、学修できることが、本講義の特徴です。なお、学んだ基礎理論と現実のギャップの内容を、学生自らが、確認しながら、そのギャップの発生理由について体系的に考える練習をし、ソリューションを発見していくことを目指します。

	事業戦略構築論（熊沢）－独立起業コース－	科目区分	レベル	単位数
		戦略・マーケティング	コア	2

<授業概要>

熊沢 拓
講師

この授業で学んだことをベースに、2年次の「事業計画演習」で実際に各自の事業の企画を考え、事業計画書にまとめることになります。自分で独立起業を考えている人が対象になります。デザイン思考の手法とリーンスタートアップの考え方を組み合わせることで、起業アイデアや新規事業のアイデアを持っていない人でも、起業アイデアを体系的に生み出すことができる考え方と手法を身につけることを目的としています。



松木 知徳
講師

事業戦略構築論（松木）－社内起業コース－

科目区分	レベル	単位数
戦略・マーケティング	コア	2

<授業概要>

企業内での新規事業開発のプロセスおよび検討手法を学び、2年次の「事業計画演習」において事業計画書を作成するためのベースとなる知識および自事業のテーマ検討のヒントを得る



宮内 惇至
教授

ファイナンス（宮内）

科目区分	レベル	単位数
金融・財務	コア	2

<授業概要>

ファイナンスの初学者を対象として、事業投資の意志決定、企業価値の評価と最大化、最適な負債と株主資本との組み合わせ、などについての基本的な考え方と分析手法を学びます。理論的な厳密さよりも実務上の有用性の観点から、基本的な概念の本質的な意味を理解したうえで使いこなすことに重点を置きます。なお、実践的なファイナンス手法の感覚を養うためにエクセルを用いて数値例を計算することがあります。



山岸 洋一
教授

ファイナンス（山岸）

科目区分	レベル	単位数
金融・財務	コア	2

<授業概要>

ファイナンスの初学者を対象として、企業価値評価とそれを支える諸々の理論を中心に学ぶことにより、ファイナンスの諸理論の体系的な理解を目指します。また、ベーシックなファイナンス理論を学んだうえで、スタートアップのファイナンスの特徴を学びます。授業に際しては、ファイナンスの実践的な知識の修得に重きをおき、実務を行う段階で知っていないと困る「幹」となる理論を先に説明し、「幹」を支える理論はその後に解説します。常に「今学んでいるのは全体のどこに位置しているか」を示しながら解説します。また、確実な理解を促すため、数値例を多く示し、また、当該数値例をエクセルで計算することがあります。会計、法律、東証規則（コーポレートガバナンス・コード等）など周辺の知識が必要となる場合に、これらを適宜補足しながら学んでいきます。

	金融・資本市場概論	科目区分	レベル	単位数
		金融・財務	応用	2

<授業概要>

幸田 博人
教授

本講義では、金融・資本市場の機能や役割について、ビジネスパーソンが押さえておくべき内容を取り上げます。その上で、金融・資本市場の構造変化を踏まえて、今後の取り組みべき対応などについて、どこに着目すべきか、何を視点に持つかについて、学習していきます。

金融・資本市場における基本的仕組み、株式・債券等のプロダクトについての理解、資本市場を巡る新しい動き、M&A等経営戦略に係る事項、企業の財務戦略、資本市場の担い手（当局、取引所、企業、投資家、証券会社・投資銀行等）の役割と課題、金融リテラシー、イノベーション(含むFinTech)の重要性等について、基礎的な事項に加えて、最新の状況等も理解し、その上で、今後のマーケットの不透明性の下、金融・資本市場の構造について、どこに着目すべきか、何を視点に持つかについて、学修を進めていきます。

	起業会計実践	科目区分	レベル	単位数
		金融・財務	発展	2

<授業概要>

太齋 利幸
教授

貸借対照表（B/S）、損益計算書（P/L）、キャッシュフロー計算書（C/S）の基本的な知識の習得とそれぞれの関係を学び、経営者が意識すべき決算書と題して、決算書に関する重要ポイントを学ぶ。また、財務分析として、収益性分析、安全性分析、生産性分析、成長性分析、キャッシュフロー分析について数値的な感覚を養う。一方、マネジメントのための管理会計についても触れる。

	オペレーションズ・マネジメント（小林）	科目区分	レベル	単位数
		経営数理・問題解決	コア	2

<授業概要>

小林 英幸
教授

オペレーションズ・マネジメント（OPM）は、定常業務（オペレーション）を機能別、部門別ではなく、それらを超えたつながりや連携の観点でマネジメントする手法であり、理論の体系です。歴史的には生産現場のオペレーションの管理に始まり、サプライチェーン・マネジメントやカスタマーリレーションシップ・マネジメントなどの領域で発展し、近年ではナレッジ・マネジメントの領域でも研究が進んできました。

OPMには、経営学的なアプローチと経営工学的なアプローチがあります。前者では、OPMを組織全体の戦略的目標と統合される重要な機能と見なし、仕組みや成功事例を体系化して論じます。その中で、組織の価値創造にどのように貢献するかが重要な議論になります。後者では、科学的な手法と技術を用いて組織の効率性と生産性を向上させることを志向します。そのために、個々の課題を検証して解決することを目指すというアプローチを採ります。

「オペレーションズ・マネジメント（小林）」は、主として経営工学的なアプローチで授業を進めます。企業活動とは、顧客にとって望ましい製品・サービスを創造し、それを顧客にとって望ましい価格で提供することによって利益を得る活動であると考えます。本授業では、上記を実現するための主要な業務及びその連鎖に注目し、それらのマネジメントの理論的背景やそれらが優良企業ではどのように行われているか、そこに至るまでにどのような変遷を経たかも交えて概観します。

	オペレーションズ・マネジメント（野間口）	科目区分	レベル	単位数
		経営数理・問題解決	コア	2

<授業概要>

野間口 隆郎
客員教授

オペレーションズ・マネジメント（OPM）は、定常業務（オペレーション）を機能別、部門別ではなく、それらを超えたつながりや連携の観点でマネジメントする手法であり、理論の体系です。歴史的には生産現場のオペレーションの管理に始まり、サプライチェーン・マネジメントやカスタマーリレーションシップ・マネジメントなどの領域で発展し、近年ではナレッジ・マネジメントの領域でも研究が進んできました。

OPMには、経営学的なアプローチと経営工学的なアプローチがあります。前者では、OPMを組織全体の戦略的目標と統合される重要な機能と見なし、仕組みや成功事例を体系化して論じます。その中で、組織の価値創造にどのように貢献するかが重要な議論になります。後者では、科学的な手法と技術を用いて組織の効率性と生産性を向上させることを志向します。そのために、個々の課題を検証して解決することを目指すというアプローチを採ります。

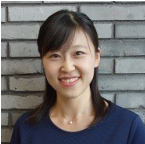
「オペレーションズ・マネジメント（野間口）」は、主として経営学的なアプローチで授業を進めます。とりわけ、ITの戦略的な活用により革新的なビジネスモデルを構築するような業務改革（オペレーション改革）について理解します。一方で、オペレーションは生モノである人や組織がおこなうため、その側面からの視点も欠かせません。そのような改革を立案したうえで、実行し、その成果を評価し、次のアクションにつなげることがOPMであると捉え、実際の業務課題に直面したときに適切な解決策を導き出すために、幅広い領域の業務改革についてみていきます。講義中は「オペレーションズ・マネジメント」の日本語訳である「オペレーションマネジメント」として表記していますが、両者は同じ意味になります。

	問題解決技法	科目区分	レベル	単位数
		経営数理・問題解決	応用	2

<授業概要>

太齋 利幸
教授

問題解決技法は、会社経営だけでなく人生の様々な場面で必ず必要となる技術であることを理解した上で、最初に「問題とは何か」に対する正しい理解力を築き、その上で何故その問題が起こったのか原因分析を行う。また、優先順位付けの思考にも言及する。それら講義の後に、事例研究にて習熟度を高める配慮をする。特に、テクニックだけでなく、考える力の養成にも重点を置く。

	ビジネス法概論	科目区分	レベル	単位数
		企業倫理・経営思想	コア	2

<授業概要>

盧 暁斐
教授

グローバル化・IT化が進む中、企業を取り巻く法的環境がますます複雑化かつ多岐化しています。ビジネスに関連する法律知識と法的思考力は、紛争解決の場合はもちろん、法的リスクの予防や経営戦略の観点からみても必要不可欠です。

本講義ではビジネスの基礎となる民法をはじめ、企業取引、労務、財産確保をめぐる法律を網羅的に取り入れて解説します。また、会社法については、企業経営と会社法という科目で詳細に解説するため、本講義ではあえて取り上げないことにします。

本講義では、ビジネスに関連する法律の基礎知識を中心に、実務に適した事例・論点を紹介します。また、近時の民法の改正最近の動向も含めて総合的に検討します。また、授業内容に対する理解を深めるため、適宜対面授業やディスカッションを取り入れ、ケーススタディーをする予定です。



コーポレート・ガバナンス

科目区分	レベル	単位数
企業倫理・経営思想	コア	2

<授業概要>

上田 亮子
教授

本講義では、コーポレート・ガバナンスについて学びます。
企業経営においては、経営者は、出資者（株式会社においては株主）、従業員や取引先等のステークホルダー等の利益をバランスよく配慮しながら、会社の中長期の持続的価値を向上させるよう努めることが期待されます。特に、上場会社においては、株主価値の向上を目指すことが求められます。
本講義では、コーポレート・ガバナンスの意義、コーポレートガバナンス・コードおよびスチュワードシップ・コードの内容、コーポレート・ガバナンスの課題、機関投資家の役割等について、海外事例を紹介しながら学修します。



グローバル・ビジネスコミュニケーション

科目区分	レベル	単位数
グローバル・ビジネス	発展	2

<授業概要>

マイケル・
サンダークリフ
講師

グローバル・ビジネスコミュニケーション講座では、異文化環境でのビジネスにおける最適なコミュニケーションの方法を身につける。北米、欧州、豪州、アセアン諸国とビジネスを行ってきた弊社の知見を踏まえて、異文化/多文化間のビジネスでの成功に必須のマインドセットとスキルを養成できるように、明確な方法論と豊富なケースを組み込んだプログラムとなっている。どの文化においても力を発揮できる「Universal Communicator」となるために、Step 1「他文化と自文化理解」、Step 2「交渉に役立つコミュニケーション技法」、Step 3「相手を説得するプレゼン技法」の3 Stepで段階を踏んでスキルを養成することができる。



グローバル・ビジネスライティング

科目区分	レベル	単位数
グローバル・ビジネス	発展	2

<授業概要>

マイケル・
サンダークリフ
講師

グローバル・ビジネスライティング講座では、グローバルビジネスで必要とされる英語ライティング力を養成する。本講座では、まず効果的なライティングの土台となるクリティカル・シンキングの基礎を学び、英語での情報・図表分析から資料・提案書作成ができる力まで、実際のビジネスケースを使いながら養成する。特に、情報を提示する Informative Writing と 相手を説得する Persuasive Writing の2つの書き方を学ぶ。その上で「客観的データ提示+相手への説得」という二つの要素を組み合わせ、効果的な英語提案書の作成法を習得する。また、Informative Writingと Persuasive Writingで学んだ内容を活用して、後半の実践演習では多数のケース分析を行い、実際に提案書を作成する。Executive Summary、Problem Statement、Proposed Solution、Qualificationsという実際の提案書の流れに沿って、各自ドラフトを作成することで、実践的な知識とスキルを身につける。

【後期開講科目】



吉田 宣也
教授

経営者に学ぶベンチャー企業経営

科目区分	レベル	単位数
戦略・マーケティング	発展	1

<授業概要>

本科目では、ベンチャー経営において重要な6テーマ（①事業コンセプト・事業戦略、②営業・マーケティング、③財務/資金調達、④組織開発・組織文化、⑤ソーシャルインパクト、⑥製品開発）を、第一線のベンチャー経営者の実例を基に学んでいく。授業は担当教員(吉田)が全体監修を行い、各章は担当教員を含めそれぞれ専門分野の講師がベンチャー経営者をゲストに迎えてファシリテートし、経験に基づくベンチャー経営のエッセンスを引き出す形で行われる。経営資源が豊富な大企業とは異なるベンチャーならではの経営における創意工夫を疑似体験しつつ実践的なスキルを学ぶ。



野間口 隆郎
客員教授

MBAのためのケーススタディー

科目区分	レベル	単位数
戦略・マーケティング	発展	1

<授業概要>

世界のグローバルスタンダードなMBAはケースメソッドによる学修によって、その実践的な知的スキルを磨いてはじめてMBAとしての自己の価値の証明ができます。現実のビジネスで直面する課題は、戦略、マーケティング、組織、オペレーション、ファイナンスの理論的な分野別に区分されていることはありません。それらを総合的に使いこなして解決策を導きだします。そのための知的スキルをケースメソッドによる学修で磨いていきます。それは学修というよりは訓練に近いと言えるでしょう。



小林 英幸
教授

管理会計（小林）

科目区分	レベル	単位数
金融・財務	コア	1

<授業概要>

この授業では、管理会計が企業の内部に提供する情報と、企業で働く人々に与える影響に着眼して、管理会計システムの設計や、その運用のあるべき姿を考えていきます。
管理会計の元々の目的は、会計データを初めとして、企業の経営に役立つデータを、企業の内部に提供することです。つまり「情報システム」としての役割です。企業の現場に存在するのは会計データだけでは勿論ありません。仕事の質を高めるための仕組みや、働く人たちの心理・感情というものも、企業の経営に影響を及ぼすものです。この授業では、会計データを中心とした情報システムとしての役割と、それらが企業で働く人々に与える影響、すなわち「影響システム」としての役割に着眼して進めていきます。影響システムとしては特に、人は測定されることによって行動を変えるものだという点に注目して、その理由や適切な対処方法などを掘り下げていくことにします。

	管理会計（柴崎）	科目区分	レベル	単位数
		金融・財務	コア	1

<授業概要>

柴崎 健
教授

この授業では、管理会計が企業の内部に提供する情報と、企業で働く人々に与える影響に着眼して、管理会計システムの設計や、その運用のあるべき姿を考えていきます。

管理会計の元々の目的は、会計データを初めとして、企業の経営に役立つデータを、企業の内部に提供することです。つまり「情報システム」としての役割です。企業の現場に存在するのは会計データだけでは勿論ありません。仕事の質を高めるための仕組みや、働く人たちの心理・感情というものも、企業の経営に影響を及ぼすものです。この授業では、会計データを中心とした情報システムとしての役割と、それらが企業で働く人々に与える影響、すなわち「影響システム」としての役割に着眼して進めていきます。影響システムとしては特に、人は測定されることによって行動を変えるものだという点に注目して、その理由や適切な対処方法などを掘り下げていくことにします。

なお、本講座は、対面授業はありません。

	金融論基礎：基礎から応用へ	科目区分	レベル	単位数
		金融・財務	コア	1

<授業概要>

林 直嗣
客員教授

金融論は、家計の資産選択・ポートフォリオ理論、資産運用論、企業のファイナンス、ガバナンス、公的金融、マクロ金融分析、金融市場論、証券市場論、株式市場論、為替市場論、国際金融論、金融政策など金融関係の諸科目の最も基本となる基礎科目です。金融関連諸科目を履修する場合は、先ずこの金融論基礎を履修することをお勧めします。ミクロとマクロの経済理論や経済政策論を学習してから、金融論をしっかりとマスターして、その上で金融関係の専門諸科目を勉強すると、基礎から応用へと理論的思考力や実践的分析力、経営判断力が着実に身につきます。

	財政と社会保障の理論と実際	科目区分	レベル	単位数
		金融・財務	発展	1

<授業概要>

福田 淳一
客員教授

財政の標準的な理論に沿って、その役割について学ぶとともに、実際の場面の財政問題について考察する。次に、国と地方の財政の仕組みなどを学ぶ。最後に、現在、財政の最大の分野になっている社会保障について、その役割、社会保障各分野の意義、制度、問題点などについて学ぶ。



沖吉 真実
講師

データサイエンス

科目区分	レベル	単位数
経営数理・問題解決	応用	1

<授業概要>

本講義では、Pythonを利用したデータ解析手法を学び、あらゆるビジネスシーンでデータを活用する力を養います。本講義ではChat GPTを利用して、プログラミングへ活用することで、プログラミングを苦手とする方でもより簡単にデータを扱うことができることを目的としています。データ解析の一連の流れ（手順）を理解し、実際にPythonを実装させ、Try and Error を繰り返すことで、実践的なスキルの向上を目指します。



藤本 守
客員教授

ブロックチェーン技術の社会実装（応用編）

科目区分	レベル	単位数
経営数理・問題解決	応用	1

<授業概要>

ブロックチェーン技術は金融サービス領域のみならず、産業分野においても大きな変化をもたらす可能性を持った技術です。これまでは暗号資産への応用が最も進展し社会的にも認知されていますが、それ以外の様々な分野への応用が進んでいます。

ブロックチェーンブームに乗って多くのプロジェクトが生まれた一方で、社会実装の手前で足踏みをしている事例、社会実装まで進んだものの継続出来なかった事例も多く見られます。それは暗号資産の分野においても同様です。

ブロックチェーン技術の社会実装は未成熟で発展途上であり、これが正解というセオリーがあるわけではありません。本講義ではブロックチェーン技術の社会実装はどのように進められるものなのか、事例を用いながら解説します。

なお、本講義ではブロックチェーン技術に対する知識は必須ではありませんが、専門用語等が出て来ますので「ブロックチェーン技術の社会実装（基礎編）」を受講されていることが望ましいです。



人間学特論～日本の勤労観と地域経営思想～

科目区分	レベル	単位数
企業倫理・経営思想	発展	1

<授業概要>

堀 隆一
講師

人間の徳性を養う学問を「人間学」という。倫理・道徳とも通ずるところがある。戦後の教育において義務教育での倫理・道徳は軽視され、形式的なものになってしまい、倫理・道徳心のない人々が大量に社会に出てしまう事態に陥ってしまった。

これは、一般市民のみならず、政治家、経営者、宗教関係者、公務員、教員、法曹関係者、医学関係者等、所謂エスタブリッシュメントと呼ばれる人々までがその惨状の渦中にある。違法だと分かっている手も染める汚職、刑事罰のみならず株主代表訴訟で財産迄失う企業不正、職を失う様々な不祥事が毎日のように報じられている。

人間学が欠如した人々の増加は、かつて工場運営を担当してきた筆者にとって非常に悩ましい問題であり、それが高じて、「働き方改革」が叫ばれるほどの社会的問題になってきた。本講義ではそこにメスを入れる。

二宮尊徳は「経済なき道徳は寝言であり、道徳なき経済は犯罪である」と述べ、澁澤栄一は「経済道徳一致」を唱えた。資本主義の発展と道徳・倫理は並立しなければ人類は幸福になれない。

幸い、日本は伊弉諾・伊弉冉の神代から勤労の精神が培われ、天照大神によって神道が生まれた。そこに仏教と儒教が加わり、聖徳太子の十七条の憲法によって日本の道徳基盤が成立した。

江戸時代、石田梅岩、上杉鷹山、二宮尊徳を始めとする指導者によって自立性と相互扶助が唱えられ、日本は勤勉革命とよばれる世界に類を見ない新しい価値観を築き上げた。ヨーロッパの産業革命と並び称されるものであった。

明治維新後、サミュエル・スマイルズの「自助論」が日本人に大きな影響を与え、澁澤栄一らによって殖産興業が進められた。日本は経済的にも、産業的にも、軍事的にも大いに発展したが、そこには大きな矛盾点を内包しており、第二次大戦の敗戦に繋がった。敗戦後、アメリカの合理主義が日本に導入され、それを咀嚼した日本は再び発展を遂げた。しかし、利益一辺倒に陥った日本は、二宮尊徳の「道徳なき経済は犯罪である」の状態に陥ると同時に経済発展も滞ってしまった。

日本人は今や、人間としての徳性をも失いつつある。日本人の品性と資質、本来の美しさを、21世紀に呼び戻したい。古き日本のみならず東西の先賢を学び、新しい日本をリードする人材を養成することに貢献したい。本特論には、そのような思いも込めている。それは、単なる懐古主義ではなく、温故知新によるイノベーションに他ならない。

人間学は、宗教、哲学、倫理学等を包含する幅広い学問であるが、本特論では特に古代から現代に至る日本の勤労観と地域経営思想、働き方に光をあてる。



中国市場戦略

科目区分	レベル	単位数
グローバル・ビジネス	発展	1

<授業概要>

細沼 諒芳
教授

日本企業が中国市場に進出するとき、一つの強みは、日本ブランドが持つ力です。具体的に言えば、中国消費者にとって、日本製品は「信頼できる」「丁寧に作られている」「安心して使える」などのイメージを持っています。また、日本製品を買うことは「自分へのご褒美」とも言えます。この強みを最大限に生かすために、中国市場の特徴、消費者の行動などを理解する必要があります。

中国市場といえばまず、沿岸部の比較的富裕層が多い地域への販売・サービスの提供に注目が集まります。しかし、あまり注目されていなかった地方の二級都市、三級都市も、最近は購買力が向上し、大きな消費市場となりつつあります。こうした地域でのエリア戦略、販売戦略、ネットマーケティング戦略などが今後は重要となります。

具体的に、本授業は以下3つの内容によって構成されます。

- 1) 中国市場の概況と消費文化、消費者ライフスタイルの変化（1～2章）
- 2) 「何を」「どこで」「誰に」「どうやって」売るかについて具体的に中国での市場戦略を学ぶ（3～5章）

システム要件

■ハードウェア要件

- ・CPU:4コア2.5Ghz以上
- ・メモリ:16GB以上を推奨
- ・ハードディスク:

【WindowsPCの場合】

- ・Teamsアプリのインストール時:3 GB の使用可能なディスク領域が必要です。
- ・Microsoft365のインストール時:4 GB の使用可能なディスク領域が必要です。

【Mac PCの場合】

- ・Teamsアプリのインストール時:1.5 GB の使用可能なディスク領域が必要です。
- ・Microsoft365のインストール時:10 GB の使用可能なディスク領域が必要です。

■ソフトウェア要件

【WindowsPCの場合】

- ・OS:Windows11[64ビット版]
- ・Webブラウザ:Microsoft Edge、Google Chrome
- ・その他:Adobe Acrobat Reader(最新版)

【MAC PCの場合】

- ・OS:macOS v15.5 Sequoia、macOS v14.3.1 Sonoma、macOS v13.5.1 Ventura
- ・Webブラウザ:Safari、Google Chrome
- ・その他:Adobe Acrobat Reader(最新版)

※Chrome OS (Chromebook) には対応していません。

■モバイル端末でのご受講

- ・OS:iOS 18、17、iPadOS 18、17、Android 15.0、14.0、13.0
- ・Webブラウザ:

iOSをご利用の場合:Safari

Androidをご利用の場合:Google Chrome(標準搭載)

※iPad mini及びiPadProは動作保証対象外です。

■ネットワーク要件

- ・下り:2Mbps以上のインターネット接続、上り:256kbps以上のインターネット接続

※スマートフォンの場合はLTE/4G以上、WiFi環境を推奨

【Web会議システムで授業に参加される場合】

- ・下り:1.8Mbps以上のインターネット接続、上り:2.6Mbps以上のインターネット接続

■USBカメラ、ヘッドセット要件

【Web会議システムで授業に参加される場合】

- ・USB2.0WebカメラまたはPC内蔵のWebカメラ
- ・ヘッドセットまたはヘッドフォン・イヤフォン及びマイク

※上記パソコンのハードウェア、ソフトウェア要件に適合するもの

■その他

- ・大学事務局との連絡の為、メールを送受信できる環境が必要です。
- ・レポート課題等への対応のためMicrosoft Excel、Microsoft Word、Microsoft PowerPointが必要です。
(在学中に限り、大学から提供されたライセンスでご利用いただけます。)

2025年8月現在(変更となる場合もございます。)

■注意事項

- ・ブラウザのJavaScript、Cookie、SSL(TLS)の設定が有効である必要があります。
- ・セキュリティソフトウェアまたは、アンチウイルスソフトウェアのセキュリティ機能によって当サービスの機能が正しく利用出来ない場合があります。
- ・海外でご利用の場合は、国毎のネットワーク通信やインフラ事情により受講ができない場合がございます。事前にご確認のうえご利用ください。
- ・本サービスは、Web通信が可能な環境でご利用になれますが、社内LANのファイアーウォールやプロキシサーバーなどにより通信制限されている場合は、本学コンテンツを正常にご受講いただけない場合がございます。
この場合は、本サービスで利用しているプラットフォーム(学習管理システムサーバーおよび映像配信サーバー)についてホワイトリストに追加するなど、ネットワーク管理者様とご調整いただく必要があります。

試視聴用の動画を大学院ホームページにて公開しております。



▶ 試視聴用の動画

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

お問い合わせ

SBI大学院大学事務局 平日9:00～18:00

〒106-6021

東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー21階

電話 03(6229)1175 FAX 03(6685)6100

Email: admin@sbi-u.ac.jp

SBI大学院大学ホームページ <https://www.sbi-u.ac.jp>



 **SBI** Graduate School

